

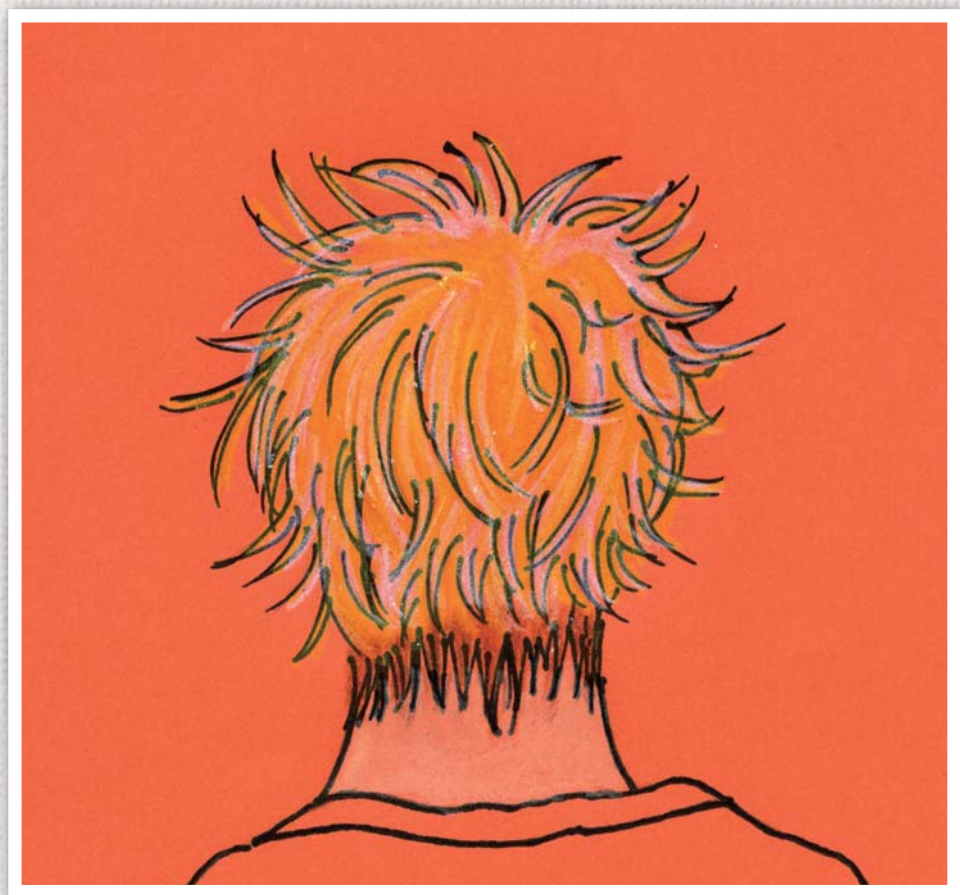
クラリンがやってきた！





きょう学校にダンスの先生が
やってくる
どんな先生かなあ
とっても楽しみ
誰かがぼくらに近づいてきた
「こんにちは！」

わあ、手話であいさつするんだ
すごいな、なんだかうれしいな
「きょうからダンスを
みんなに教えることになりました。
シクラリン、って呼んでください」





クラリンの髪型って変わってる
ぼくの父さんや母さん、先生…
ぼくはクラリンみたいな髪型の人、
今までに見たことがないよ
もしかして外国の人？
わあ、クラリンが踊り出した
なんだか楽しそう
すごいなあ
カッコいいな

**ダンスの授業があるときは
いつもぼくがクラリンのくつを
ぎゅつとかがえて体育館までもっていく
クラリンのくつは
きっと魔法のくつにちがいない
このくつを履けば
ぼくもクラリンみたいに
踊れるようになるかな**





クラリンは教えてくれたよ
ダンスには音楽があるって
ダンスに言葉はいらないって
みて、感じて
体を動かすことを楽しんでって

ほんとだ
だんだん楽しくなってきた

感じるよ
音が聞こえなくても
聞こえにくくても
ずんずん響く振動や
仲間たちの息づかい
アイコンタクト
音を感じて
踊るんだ
楽しいよ
うれしいよ





踊っていると
街の景色も
みんなの顔も
キラキラして
ぼくもみんなも
ハッピーになる
クラリンありがとう
ぼくもみんなに届けるよ
ダンスの楽しさ
ハッピーな気持ち
さあ、みんなで踊ろう！



「聴覚・言語障がい」について

聴覚障がいには、まったく聞こえない「ろうあ」と聞こえにくい「難聴」があります。言語障がいには、言葉の理解や適切な表現が困難な「言語機能の障がい」と、言葉の発声だけが困難な「音声機能の障がい」があります。聴覚障がいと言語障がいも重複することもあります。

★こんな配慮がうれしい！

- ◇適切なコミュニケーション方法を**確認**
(筆談、口話、手話、代用発声)
- ◇音声以外の情報伝達方法を使う
(ファクス、掲示板など)
- ◇聞き取りにくい場合は、分かったふりをせず**内容を確認**

あしがき

ダンススタジオでの取材の日、クラリンさんのカジュアルな服装と独特のヘアスタイルに気後れする自分がいた。取材を始めると、質問の一つ一つに真面目に向き合って答えてくれる。聴覚に障がいがある子どもたちにダンスを教えるときも、特別意識することはないと言い切る。ダンスは誰かと競争するものでは

ないし、「感じる」ことが大事。楽しんでくれたらいいというポリシーがある。手話であいさつしたり自分から子どもたちとの距離を縮める努力は惜しまない。子どもたちがダンスの時間を心待ちにする理由が分かった。(天)